

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C	令和5年3月29日	
横断的な課題	松本地域の特色を活かした、2050ゼロカーボンの達成に向けた取組					松本地域振興局	
地域重点政策							
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属	林務課	
事業名	脱炭素社会に向けた地元木材製品等普及拡大事業				電話	0263-40-1928(直通)	
					E-mail	matsuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	松本地域の木工製品等の普及拡大によるCO2排出量の多い人工素材からの転換					
	現状と課題	日常で多く使用されている人工素材による製品は、化石燃料を原料とすれば枯渇することが予想される。また、精製に至る経過においても多量のエネルギーを必要とし、地球温暖化に拍車をかけており、これらに対して、CO2排出量の削減や森林保全、再生エネルギー等のクリーンエネルギーの利用に取り組むことが求められている。 松本地域における素材(木材)は、カラマツやアカマツ等の間伐及び主伐により年間約50千㎡の生産があり、この利用促進として、暮らしに木材を取り入れ、生活用品等を人工素材から木質製品への代替を進めるウッドチェンジを推進することで、地域の脱炭素化及び県産材製品の需要拡大に取り組み、2050ゼロカーボンの実現を促進する必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	再生可能な地域資源である木材製品等に転換を図ることを目的として、令和3年度は、木工製品等の展示を管内8施設で行い、ホームページ上で紹介を行った。 令和4年度は、昨年度に引き続き、木材製品の展示による直接的な啓発を行うとともに、新たに管内の木工製作者が生産される木製家具等の製品を集約したパンフレット等を作成し、管内市村や教育機関、保育施設、福祉施設等へ配布し、県民の方や施設事業者等に対する脱炭素化・木材利用の促進に向けた県産材の木製製品の導入について幅広く普及活動を行う。また、作成したパンフレットをホームページに掲載し啓発を行う。 (参考実績) ・R3脱炭素化に向けた地元木材製品等普及拡大事業 ・木工製品展示:15団体の木工製品を8施設で107日間展示、麦ストロー900セット(1,800本)配布 ・R3木質空間整備事業(松本管内分)(森林づくり県民税活用事業) ・木造・木質化を実施した施設:2施設、木の調度品・おもちゃの整備…9施設					
	事業期間	令和4年8月		～	令和5年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	県産木工製品等普及事業	木工製品リスト印刷製本費	99,550	250部			
	県産木工製品等普及事業	製品製作者への掲載品データ収集依頼	6,720	切手代(木工製作者への製品データ提供依頼)			
	合計		106,270				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	木工製品啓発パンフレット掲載品数		20品	19品	○ 達成		
	木工製品啓発パンフレット配布箇所数		55箇所	27箇所	○ 一部達成		
					● 未達成		
事業実績・成果	<p>【実績】 木工製品製作者から、データの提供があった19者の製品をパンフレットとして作成し、普及啓発を行った。配布部数については、当初1,000部としていたが、応募者及び木材関係団体と配布先を調整した結果、印刷数及び配布先の減となった。</p> <p>【成果】 管内の木工製品製作者の協力による県産材を活用した木工製品の認知・普及を図ることができた。パンフレット製作時期が年度末となり、配布先が管内の市村や関係団体、製作者等の狭域に留まったため、次年度以降、より広域的な啓発効果を高めるための展開(県外での出展等)を実施していく必要がある。</p>						
今後の方向性	松本地域内での普及は継続的に行う中で、新たに都会の消費者に対し、県産材製品のPRを行い、消費拡大を図る。						